

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	_____	
平成19年度医学博士授与者（前期）	2
○ 人 事	_____	
部長・教授・准教授・講師	2
新任あいさつ	2
・医学部 感染制御・臨床検査医学講座 教授 金光 敬二		
・看護学部 ケアシステム開発部門 教授 竹谷 美穂		
○ 諸 規 程 改 正	_____	
平成19年6月から平成20年1月までの諸規程の制定改廃関係	3
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	_____	
役員会	4
経営審議会	5
教育研究審議会	5
医学部教授会	5
看護学部教授会	6
○ 雑 報	_____	
倫理委員会	6
学生の部活動報告（山岳部）	9
医学部定員増の実施について	10
「大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）」の設置について	10
平成19年度科学研究費補助金採択状況	11

学 事

■ 平成19年度医学博士授与者（前期）

[平成19年 9月授与]

氏 名	学 位 論 文 名
立原 素子	A Virtual Bronchoscopic Navigation System under X-ray Fluoroscopy for Transbronchial Diagnosis of Small Peripheral Pulmonary Lesions (肺末梢小型病変に対するX線透視下気管支鏡検査におけるバーチャル気管支鏡ナビゲーションシステムの有用性について)
羽賀 宣博	Effect of oxybutynin and edrophonium on the sensory afferent activation induced by continuous saline infusion into the rat urinary bladder (膀胱持続注入によって惹起される膀胱求心性ニューロンの活性化に対するオキシブチニン(抗コリン薬)とエドロフォニウム(アセチルコリンエステラーゼ阻害剤)の影響)
吉田 純也	The Effects of Ovariectomy and Estrogen Replacement on Acetylcholine Release From Nerve Fibres and Passive Stretch-Induced Acetylcholine Release in Female Rat Bladder (雌ラット膀胱における神経刺激および受動伸展により放出されるアセチルコリンの卵巣摘除およびエストロゲン補充による変化)
小原 伸樹	Correlation between Augmentation Index and Pulse Wave Velocity in rabbits (ウサギにおける Augmentation Index と脈波速度の相関性)

人 事

(平成20年 2月1日現在)

◎新任部長

採用(兼務) 20.1.1 附属病院検査部長 金光 敬二
(医学部感染制御・臨床検査医学講座 教授)
兼務 19.9.1 附属病院医療情報部長 大平 弘正
(医学部内科学第二講座 教授)

◎新任教授

採用 20.1.1 医学部感染制御・臨床検査医学講座
教授 金光 敬二

採用 19.8.1 看護学部ケアシステム開発部門
教授 竹谷 美穂

◎新任准教授

昇任 19.8.1 医学部細胞統合生理学講座
准教授 山崎 将生
採用 20.1.1 医学部生化学講座 准教授 城谷 圭朗

◎新任講師

採用 19.10.1 医学部解剖・組織学講座 講師 山本 雅哉
昇任 19.10.1 医学部外科学第一講座 講師 鈴木 弘行
採用 20.1.1 附属病院輸血・移植免疫部
講師 ケネス E.ノレット

■ 新任あいさつ



教授就任のごあいさつ

医学部 感染制御・臨床検査医学講座
教授 金光 敬二

平成20年1月1日付けで感染制御・臨床検査医学講座を担当することになりました金光敬二(かねみつけいじ)です。

昭和63年に岩手医科大学を卒業し、臨床医をしばらくしたのち聖マリアンナ医科大学の微生物学教室で細菌学の基礎を学びました。このころより細菌学のみならず感染症学にも興味をもち、内科医師よりコンサルテーションを受けることもしばしばありました。時には、まれな感染症や診断しにくい感染症患者に遭遇することもありました。病院には多くの感染症患者がいるにもかかわらず感染症専門の医師が不在であることに違和感を感じておりました。平成13年に感染症と感染制御を学ぶために東北大学の感染制御・検査診断学に入局しました。ここではさまざまな感染症を診ると同時に多くの病院でのアウトブレイクなども経験しました。また、大学病院の検査部の運営にも関わってきました。感染制御部も検査部も病院の中央部門であり、常に広い視野に立って病院全体の有益性を考えるという意味では共通しております。逆に申しますと診療各科、各部門のみならずのご助言、ご協力が必要な部門であるということもいえます。今後、感染症学、感染制御学、臨床検査医学の教育と研究を含めて福島県立医科大学の発展のために寄与していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



就任あいさつ

看護学部 ケアシステム開発部門
教授 竹谷 美穂

平成19年8月1日より看護学部ケアシステム開発部門・看護管理学の担当として就任いたしました。

福島県との関わりは、約10年前から看護協会主催の研修会、看護学部4年生への講義にきておりました。毎年秋頃の講義で山々が色づき、それぞれの家に柿がもったいないほど残っている季節でした。実際に暮らしてみると厳しい自然への適応にかなりの努力を要しております。(ほとんど観光客であったことを実感しています)

昨年の3月までは東京の目黒区にある都会型の典型的な病院で10数年看護部長をしていました。ここ10年の医療現場は医療安全を主とした大きな変化の波に乗せられ医療がどの方向に向かっているのかが見えない中で、病院をこの地域にどのように残すかを必死に組織全体で考えてきた数年でした。

福島に参りまして穏やかな環境と人々に接し、厳しい医療環境の変化の波は福島だけが免れられた(?)のかと思いましたが、それなりに課題は当然あるように見えます。

私の担当は看護管理学です。社会の変化に影響がある医療を現実としてとらえ、医療を必要としている人々に実際にどのような看護が提供されているかを、組織、マネジメント、リーダーシップなどを通して学習してもらいたいと考えています。看護管理者の勉強と思われがちですが、医療提供者全てが組織の一員であり自分の考えを提案する責任があることも伝えたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

諸規程改正

■ 平成19年6月から平成20年1月までの諸規程の制定改廃関係

- 1 「公立大学法人福島県立医科大学人事管理委員会規程」の制定(平成19年7月2日制定・施行)
本法人の人事、組織及び定員に関する重要な方針等の作成、その他人事管理上の重要な事項を審議するための委員会の規程を定めました。
- 2 「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正(平成19年7月2日制定・施行)
大学院設置基準の一部改正に伴い、各研究科(医学研究科、看護学研究科)ごとに目的を規定しました。
- 3 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正(平成19年7月30日制定・8月1日施行)
役職員宿舍貸付料の改正及び託児所の夜間保育に係る利用料の追加を行うため、規程の改正を行いました。
- 4 「福島県立医科大学学則」の一部改正(平成19年7月31日制定・平成20年4月1日施行)
平成20年度からの医学部入学定員増(10名増)を行うため、学則の改正を行いました。
- 5 「公立大学法人福島県立医科大学の休日及び執務時間に関する規程」の一部改正(平成19年8月21日制定・施行、平成19年5月1日適用)
県職員の休息時間が、平成19年5月1日より廃止されたことに伴い勤務時間が変更されたことから、法人の勤務時間について改正を行いました。
- 6 「福島県立医科大学附属病院後期研修(専門医養成コース)規程の一部改正(平成19年8月23日制定・施行)
研修医の希望の多様化に対応するため、後期研修の制度と身分・処遇について、改正を行いました。
- 7 「公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程」の一部改正(平成19年8月28日制定・施行)
大学健康管理センターの名称を訂正するとともに、兼業の手続きについて、兼業規程との整合性を図るための文言の訂正を行いました。
- 8 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」及び「公立大学法人福島県立医科大学職員の育児休業等に関する規程」の一部改正(平成19年9月18日制定・施行)
育児部分休業について、地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業の対象となる子を3歳に満たない子から小学校就学の始期に達するまでの子に改正しました。
- 9 「福島県立医科大学附属病院治験審査委員会規程」の一部改正(平成19年9月21日制定・10月1日施行)
治験審査委員会の審査範囲は、本学附属病院で実施する臨床試験に限られているため、うつくしま治験ネットワーク登録医療機関が実施する臨床試験についても審査が行えるよう改正を行いました。
- 10 「福島県立医科大学附属病院治験センター規程」の一部改正(平成19年9月21日制定・10月1日施行)
治験センターの事務処理範囲は、本学附属病院で実施する臨床試験に限られていたが、うつくしま治験ネットワーク要綱が制定されたことに伴い、うつくしま治験ネットワーク登録医療機関が実施する治験審査関連業務についても、処理ができるように改正を行いました。
- 11 「公立大学法人福島県立医科大学の休日及び執務時間に関する規程」の一部改正(平成19年10月1日制定・施行)
附属病院看護部における勤務割表の作成を4週間単位から月単位に変更するための改正を行いました。
- 12 「福島県立医科大学動物実験規程」の一部改正(平成

19年10月1日制定・平成20年1月1日施行)

動物実験計画の承認等に係る様式及び適正な動物実験であったことを証明する様式等の追加制定を行いました。

13 「福島県立医科大学動物実験委員会規程」の制定(平成19年10月1日制定・平成20年1月1日施行)

学長からの諮問により、学内における動物実験計画等の審査・助言を行う委員会に関する規程の制定を行いました。

14 「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬」の一部改正(平成19年10月2日制定・施行、平成18年4月1日適用)

役員報酬規程については、これまで非常勤役員の通勤手当の規定がなかったことから、報酬として通勤手当を支給するための改正を行いました。

15 「公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議規程」の一部改正(平成19年10月16日制定・施行)

理事長選考会議の組織について、理事長候補適任者に推薦された場合でも、候補者として辞退した場合は、選考会議の委員としての資格を失わないなど、選考会議の組織の見直しを行いました。

16 「公立大学法人福島県立医科大学理事長選考規程」の一部改正(平成19年10月16日制定・施行)

理事長の選考方法について、意向投票の日程の公示や意向投票の有資格者など、その事務手続きについての整理を行いました。

17 「公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員就業規則」及び「公立大学法人福島県立医科大学非常勤職員(短時間勤務職員)就業規則」の一部改正(平成19年10月30日制定・施行)

別表で定めている職区分について、「特別研究員」を追加しました。

18 「公立大学法人福島県立医科大学における公益通報に関する規程」の制定(平成19年11月2日制定・施行)

公益通報者保護法に基づき、職員等からの内部通報の処理体制を定め、通報者を保護するとともに、不正行為等の早期発見と是正を図るための規定を制定しました。

19 「公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程」の一部改正(平成19年11月8日制定・施行、10月1日適用)

就業の禁止に係る手続きとして、感染症に伴う内容について新たに追加しました。

20 「福島県立医科大学学則」の一部改正(平成19年11月22日制定・平成20年4月1日施行)

国の緊急医師確保対策事業による医学部入学者定員増(5名増)を行うため、学生定員に係る部分の改正を行いました。

21 「公立大学法人福島県立医科大学事務決裁規程」の一部改正(平成19年12月13日制定・平成20年1月1日施行)

福島県立医科大学動物実験規程に基づく各種申請行為に対する承認事務決裁権者を学長から副学長にするため

の規定の改正を行いました。

22 「福島県立医科大学大学院学則」及び「福島県立医科大学博士研究員に関する規程」の一部改正(平成19年12月21日制定・施行)

学校教育法の一部改正(学校教育法第68条の2が、同法第104条に変更)により、引用される条項の変更を行いました。

23 「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正(平成19年12月27日制定・平成20年4月1日施行)

平成19年12月3日付けで国から認可を受けた大学院医学研究科医科学専攻について、関係する条項の改正を行いました。

24 「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正(平成19年12月28日制定・平成20年1月1日及び4月1日施行)

学生の授業料等について、他大学と同様の水準とするため、料金改定等を行うとともに、附属病院における費用の適正な回収等を図るため、料金の改正、新設等の諸料金の改正を行いました。(一部のものについては、県の認可が得られた場合に限る。)

25 「公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」の一部改正(平成20年1月1日制定・施行)

職員が休憩時間を短縮することで就業時刻を早めることができる場合の事由に、『妊娠中の職員の通勤を緩和する必要がある場合』を追加する改正を行いました。

26 「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正(平成20年1月1日制定・施行)

学校教育法の一部改正に伴い、学校教育法を引用している部分の改正を行うとともに、医学部組織の一部名称変更(臨床検査医学講座から感染制御・臨床検査医学講座)を行いました。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成19年6月27日 第5回役員会】

・「情報セキュリティ委員会」委員の選任

公立大学法人福島県立医科大学情報セキュリティ委員会要綱の承認に基づき、次のとおり委員が選任された。

藤田教授(副学長)

平岩教授(附属学術情報センター長)

大戸教授(医:輸血・移植免疫部、附属学術情報セ

ンター運営委員会情報部会員)

小林(画)教授 (医:物理学講座、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

浄土准教授 (医:神経生理学講座、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

岡田教授 (医:数学講座、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

林教授 (看:総合科学部門、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

鈴木准教授 (看:生態看護学部門、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

竹内副部長 (医療情報部、附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

鈴木事務局次長 (附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

関根企画グループ参事 (附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

鈴木学術情報グループ参事 (附属学術情報センター運営委員会情報部会員)

八木沼教授 (医:神経解剖・発生学講座、副学務部長)

加藤教授 (看:生命科学部門、副学務部長)

任期なし

【平成19年12月26日 第16回役員会】

- 「自然科学講座(仮称)教授選考のあり方検討委員会」委員の選任

企画室長の推薦に基づき、次のとおり選任された。

阿部教授 (医:医学部長)

志賀教授 (看:総合科学部門)

真壁教授 (看:応用看護学部門)

岡田教授 (医:数学講座)

錫谷教授 (医:微生物学講座)

大平教授 (医:内科学第二講座)

藤野教授 (医:人文社会科学講座)

棟方教授 (医:呼吸器内科学講座)

任期なし(検討終了まで)

■ 経営審議会

【平成19年6月22日 第1回経営審議会】

- 公立大学法人福島県立医科大学理事長選考会議補充委員の選出
理事長選考会議補充委員について、投票により野崎委員が選出された。

【平成19年9月20日 第2回経営審議会】

- 公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程の一部改正
非常勤役員の通勤手当の規定を新設する改正案について審議が行われ、承認された。

【平成19年12月21日 第5回経営審議会】

- 公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程の一部

改正

学校教育法の一部改正に伴い、組織及び運営規程における引用部分の改正を行うとともに、「臨床検査医学講座」を「感染制御・臨床検査医学講座」へ名称変更を行う改正案について審議が行われ、承認された。

- 公立大学法人福島県立医科大学中期計画の変更
医学部定員増及び医学研究科修士課程の設置に伴い、学生等の収容人員に変更が生じることから、中期計画の別表にある学生等の収容定員の改正案について審議が行われ、承認された。
- 公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程の一部改正
大学の授業料、附属病院の分娩介助料等を引き上げる改正案について審議が行われ、承認された。

■ 教育研究審議会

【平成19年6月22日 第2回教育研究審議会】

- 福島県立医科大学大学院学則の一部改正
大学院設置基準の一部改正に伴い、研究科毎に目的を設定する必要が生じたことから、医学研究科及び看護学研究科の目的について審議が行われた。

【平成19年9月20日 第3回教育研究審議会】

- 福島県立医科大学動物実験委員会規程の制定
福島県立医科大学動物実験規程に基づく動物実験委員会について、設置のための規程の審議を行い、動物実験委員会規程が制定された。

【平成19年12月21日 第6回教育研究審議会】

- 福島県立医科大学学則の一部改正
大学設置基準の一部改正に伴い、学部、学科ごとに人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的を学則に定め、公表するものとされたことから、医学部、看護学部の目的について審議が行われた。
- 公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程の一部改正
学校教育法の一部改正に伴い、組織及び運営規程における引用部分の改正を行うとともに、「臨床検査医学講座」を「感染制御・臨床検査医学講座」へ名称変更を行う改正案について審議が行われた。
- 公立大学法人福島県立医科大学中期計画の変更
医学部定員増及び医学研究科修士課程の設置に伴い、学生等の収容定員に変更が生じることから、中期計画の別表にある学生等の収容定員の改正案について、審議が行われた。

■ 医学部教授会

【平成19年10月17日定例教授会】

- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に係る個人情報管理者の推薦

次のとおり推薦され、その後、理事長から任命された。

岡田教授(数学講座)

任期は、平成19年11月1日から2年間

【平成19年11月21日定例教授会】

- 動物実験委員会委員の推薦について

次のとおり推薦され、その後、学長から任命された。

福島教授(衛生学・予防医学講座)

和栗教授(解剖・組織学講座)

細矢教授(小児科学講座)

小林(洵)教授(物理学講座)

福田准教授(人文社会科学講座)

任期は、平成20年1月1日から2年間

■ 看護学部教授会

【平成19年11月20日定例教授会】

- 動物実験委員会委員の推薦

次のとおり推薦され、その後、理事長から任命された。

本多教授(生命科学部門)

任期は、平成20年1月1日から2年間

【平成19年12月18日定例教授会】

- 看護学部長適任者選挙管理委員の選任

次のとおり選任された。

太田教授(家族看護学部門)

加藤教授(生命科学部門)

小平准教授(生態看護学部門)

雑 報

■ 倫理委員会

【平成19年4月6日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】

No.561 子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術における、塞栓物質の粒子径の違いによる塞栓効果への影響についての検討

(申請者:産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)

No.562 頸部愁訴評価ツールの計量心理学的な検証

(申請者:整形外科科学講座 学内講師 大谷晃司)

【平成19年5月11日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】

No.563 造血幹細胞移植後の免疫制御機構の解明

(申請者:輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)

No.564 骨髄不全症候群症例における赤血球結合IgG定量

(申請者:内科学第一講座

主任事務取扱 渡辺 毅)

No.565 DNA診断による腔内細菌叢の解析

(申請者:産科婦人科学講座 教授 佐藤 章)

No.566 網膜硝子体疾患における病態の解明

(申請者:眼科学講座 教授 飯田知弘)

No.567 2型糖尿病を始めとする生活習慣病における新しい代替療法の確立—ヤーコンにおける改善効果とその作用機序の解明—

(申請者:内科学第三講座 教授 渡辺 毅)

No.568 精神疾患におけるTheory of Mindと認知機能の関係について

(申請者:神経精神医学講座 教授 丹羽真一)

【平成19年6月1日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】

No.569 ヒト下部尿路組織におけるリゾフォスファチジン酸(LPA)受容体の発現および機能に関する研究

(申請者:泌尿器科学講座 教授 山口 脩)

No.570 ①新規抗精神病薬と従来型抗精神病薬との臨床効果の比較検討

②SST(生活技能訓練)の臨床効果を薬物療法継続患者に施行することにより検討する研究

(申請者:神経精神医学講座 教授 丹羽真一)

No.573 大学病院医療従事者におけるストレスと健康診断結果に関する調査研究

(申請者:大学健康管理センター 所長 安村誠司)

No.575 難治性小児悪性腫瘍に対するHLA 2・3座不適合血縁者間同種造血幹細胞移植

(申請者:小児科学講座 教授 細矢光亮)

No.576 看護介入による患者の口腔衛生に関する意識および行動の変容

(申請者:生態看護学部門 教授 荒川唱子)

No.577 胃がん術後患者の退院後の生活に対する満足度に影響を及ぼす要因

(申請者:生態看護学部門 教授 荒川唱子)

No.578 看護師の子育てをしながら仕事を継続していく意思を支えるもの

(申請者:ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)

No.579 長期在院患者の服薬自己管理プログラムの作成と評価

(申請者:ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)

No.580 大卒新人看護師の成長を促進するプリセプターシップのあり方の検討

(申請者:ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)

No.581 長期在院患者が退院できた要因—何をきっかけに本人は退院に踏み切ったのか—

(申請者:ケアシステム開発部門 教授 中山洋子)

No.582 円背高齢者の日常生活活動に対する自己効力感と健康関連QOLおよび生活満足度との関連—1年間の追跡調査から—

(申請者:ケアシステム開発部門)

<p style="text-align: right;">教授 結城美智子)</p> <p>No.583 緩和ケア施設への移行に関する要因の検討—患者・家族と医療者の相互作用の視点から— (申請者: 応用看護学部門 教授 眞壁玲子)</p> <p>【平成19年7月6日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.571 セロトニントランスポーター遺伝子多型と周術期合併症に関する研究 (申請者: 麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.572 SLC 22トランスポーターファミリー遺伝子多型の麻酔薬に与える影響に関する研究 (申請者: 麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.574 健康行動・健康観により分類した一般女性の効果的な骨健康改善方法に関する探索的研究 (申請者: 衛生学・予防医学講座 教授 福島哲仁)</p> <p>No.584 超音波内視鏡下穿刺吸引生検(EUS-FNA)における穿刺針の比較(コイルシース式とテフロンシース式) (申請者: 内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.585 胃腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)時の後出血予防に対するラベプラゾール治療前投与の意義の検討 (申請者: 内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.586 HPLP IIの健康増進要因カテゴリーから見た、効果的な生活習慣病予防対策の探索的研究 (申請者: 衛生学・予防医学講座 教授 福島哲仁)</p> <p>No.587 食道癌センチネルリンパ節を指標としたリンパ節転移診断に関する臨床研究—放射性同位元素標識コロイド(RI)を用いたSPECTとCTをfusionさせた画像構築 (申請者: 外科学第一講座 教授 後藤満一)</p> <p>No.588 統合失調症患者の症状マネジメントと支援体制確立に向けた再入院ケアプログラムの作成—その1: 再入院した統合失調症患者の実態把握調査 (申請者: ケアシステム開発部門 講師 田井雅子)</p> <p>No.589 子どもを亡くした家族への支援に関する研究—看取った施設に対するニーズに視点をあてて— (申請者: ケアシステム開発部門 准教授 大川貴子)</p> <p>No.590 地域で高齢者を支えるためのシステム構築に関する研究—郵送法による住民の意識調査— (申請者: ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)</p> <p>No.591 地域で高齢者を支えるためのシステム構築に関する研究—面接調査による団塊世代、及び高齢者を対象とした実態把握— (申請者: ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)</p> <p>No.592 地域で高齢者を支えるためのシステム構築に関する</p>	<p>る研究—訪問調査による要介護者の重症化・軽症化に関する実態把握— (申請者: ケアシステム開発部門 教授 結城美智子)</p> <p>【平成19年8月3日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの(新規申請のみ)】</p> <p>No.593 精神的ストレス指標としての唾液中クロモグラニンAの全身麻酔中における変動の検討 (申請者: 麻酔科学講座 教授 村川雅洋)</p> <p>No.594 中耳手術時におけるLVFX 1回200mg 1日2回投与の中耳組織移行に関する検討 (申請者: 耳鼻咽喉科学講座 准教授 小川 洋)</p> <p>No.595 成人の行動特性に関するチェックリストの作成 (申請者: 神経精神医学講座 教授 丹羽真一)</p> <p>No.596 非小細胞肺癌 Stage III B/IVおよび術後再発例に対するCDDP+TS-1療法とCDDP+Docetaxel療法を比較する第Ⅲ相ランダム化比較試験 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)</p> <p>No.597 携帯電話使用時の頭痛に関する研究 (申請者: 神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>No.598 進行・再発非小細胞肺癌プラチナ製剤既治療例に対するティーエスワン+ドセタキセル併用化学療法第Ⅱ相試験 (申請者: 呼吸器内科学講座 教授 棟方 充)</p> <p>No.599 初発小児特発性ネフローゼ症候群患者を対象としたプレドニゾロン国際法(2ヶ月投与)と長期投与法(6ヶ月投与)の有効性と安全性の多施設共同オープンランダム化比較試験 (申請者: 生命科学部門 教授 鈴木順造)</p> <p>No.600 慢性維持透析患者の脂質異常症に対するHMGCoA還元酵素阻害薬の効果 (申請者: 内科学第三講座 准教授 加藤哲夫)</p> <p>No.601 未治療Ⅳ期、再発・難治NK/T細胞リンパ腫に対するSMILE療法の第Ⅱ相試験(SMILE-PⅡ) (申請者: 内科学第一講座 兼任准教授 七島 勉)</p> <p>No.602 未治療Ⅳ期、再発・難治NK/T細胞リンパ腫に対するSMILE療法における末梢血中EBウイルスDNA量の定量に関する研究 (申請者: 内科学第一講座 兼任准教授 七島 勉)</p> <p>No.603 腰部脊柱管狭窄の症状スケールの開発に関する研究 (申請者: 整形外科学講座 准教授 紺野慎一)</p> <p>No.604 上部消化管出血に対するプロトンポンプ阻害剤注射剤並びにプロトンポンプ阻害剤錠の有効性と適正投与期間に関する検討を行う並行群間比較試験 (申請者: 内科学第二講座 教授 大平弘正)</p> <p>No.606 電気刺激による知覚強度の測定 (申請者: 神経内科学講座 教授 宇川義一)</p> <p>【平成19年9月7日の委員会で承認又は条件付承認とされ</p>
---	--

たもの（新規申請のみ）】

- No.607 非接触型静脈撮影装置（開発中）の性能検討；篤志献体された固定前のご遺体を用いて
（申請者：生命科学部門 教授 本多たかし）
- No.608 軸索型ギラン・バレー症候群の全国臨床疫学調査
（申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一）
- No.610 骨粗鬆症性椎体骨折に対する保存療法の指針策定のための探索的研究
（申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一）
- No.611 硬さセンサーを用いた乳腺腫瘍検出装置の開発のための臨床研究
（申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一）
- No.612 悪性リンパ腫に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法（MCVC療法）安全性効果調査（THF共同研究6）
（申請者：内科学第一講座 併任准教授 七島 勉）
- No.613 特発性正常圧水頭症におけるヒト髄液中糖たんぱく質解析研究
（申請者：生化学講座 教授 橋本康弘）
- No.614 心疾患患者における血中脳性ナトリウム利尿ペプチドN端フラグメント（NT-proBNP）測定の有用性評価
（申請者：内科学第一講座 准教授 石橋敏幸）
- No.615 小児細菌性髄膜炎及び全身性感染症調査に関する研究
（申請者：小児科学講座 教授 細矢光亮）
- No.616 Non-steroidal anti-inflammatory drugs (NSAIDs) 誘発胃粘膜障害に対する防御系薬剤の予防効果の検討
（申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正）
- No.617 重症筋無力症治療における免疫抑制剤薬剤（カルシニューリン阻害剤）感受性遺伝子多型解析
（申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一）
- No.618 転移性脊椎腫瘍および骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折に対する経皮的椎体形成術
（申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋）
- 【平成19年10月5日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】**
- No.620 非小細胞肺癌完全切除例の術後補助化学療法におけるカルボプラチン（CBDCA）+ゲムシタビン（GEM）併用療法とTS-1+ドセタキセル（DTX）併用療法のランダム化第Ⅱ相試験
（申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一）
- No.621 網膜・脈絡膜疾患に関する研究
（申請者：眼科学講座 教授 飯田知弘）
- No.622 腎細胞癌でのサイトカイン関連物質の発見に関する検討
（申請者：泌尿器科学講座 教授 山口 脩）
- No.623 小児がん経験者の社会的予後の改善をめざした保

護者支援のためのパンフレット作成

- （申請者：生態看護学部門 助教 石井佳世子）
- No.624 臨床的に意義がないとされる冷抗体保有者への輸血状況調査：臨床データの二次利用
（申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 齊）
- No.625 対応困難な患者・家族との対処法プログラムの実施と評価—集団認知行動療法プログラム—
（申請者：家族看護学部門 准教授 島山とも子）
- No.626 摂食・嚥下障害のある患者ケアに関する実態調査
（申請者：生態看護学部門 講師 平田弘美）
- No.627 進行再発膀胱癌に対する腫瘍新生血管を標的としたエピトープペプチドと gemcitabine 併用による抗癌剤併用が免疫療法（第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験）
（申請者：外科学第一講座 教授 後藤満一）
- No.628 大学新卒看護師の臨床現場への適応過程とその問題点～新卒看護師の直面した「困難場面」からの分析～
（申請者：基礎看護学部門 講師 工藤真由美）
- No.629 看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究その1：看護実践能力を測定する用具（質問紙）の開発における内容妥当性の検討
（申請者：ケアシステム開発部門 教授 中山洋子）
- No.630 携帯電話の運動野興奮性に対する影響に関する研究
（申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一）
- No.631 眼球運動中枢神経制御に関する磁気刺激を用いた研究
（申請者：神経内科学講座 教授 宇川義一）
- No.632 頸部愁訴アウトカム研究
（申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一）
- 【平成19年11月2日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの（新規申請のみ）】**
- No.633 乳癌の術前化学療法における高用量トレミフェン上乗せ効果の検討
（申請者：外科学第二講座 教授 竹之下誠一）
- No.634 遺伝子発現解析技術を活用した個別がん医療の実現と抗がん剤開発の加速
（申請者：免疫学講座 教授 藤田禎三）
- No.635 腰部脊柱管狭窄の症状スケール及びQOLスケールの開発に関する研究
（申請者：整形外科科学講座 准教授 紺野慎一）
- No.636 ベトナム社会主義共和国、ホーチミン市における糖尿病患者の血糖コントロール状況とその関連要因の検討
（申請者：公衆衛生学講座 教授 安村誠司）
- No.637 看護職員の配置変更が看護の質にもたらす変化
（申請者：応用看護学部門 講師 古橋知子）
- No.638 成人再生不良性貧血における免疫病態マーカーの意義を明らかにするための多施設共同前方視的臨床

試験

(申請者：内科学第一講座

主任事務取扱 渡辺 毅)

- No.640 悪性高熱症の確定診断法と発症機序についての研究

(申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)

- No.641 心肺運動負荷試験における ANP、BNP の変化についての検討

(申請者：内科学第一講座 准教授 石橋敏幸)

- No.642 原発性胆汁性肝硬変における血清 gp 210抗体測定の意義の検証

(申請者：内科学第二講座 教授 大平弘正)

- No.643 機能性ディスぺプシア (Functional Dyspepsia : FD) に対する Rabeprazole と Mosapride の比較検討

(申請者：内視鏡診療部 部長 小原勝敏)

【平成19年12月7日の委員会で承認又は条件付承認とされたもの (新規申請のみ)】

- No.609 精神疾患における薬物反応性・副作用発現に関する薬理遺伝学的検討

(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)

- No.644 単球・マクロファージおよび血管内皮細胞における RAGE (receptor for advanced glycation end products)、LOX-1 (lectin-like oxidized LDL receptor 1)、AT1R (Angiotensin II receptor type 1) の発現と血管リモデリングにおける役割についての検討

(申請者：内科学第一講座 准教授 石橋敏幸)

- No.645 同種抗原反応性 T および B 細胞測定による移植予後診断と最適ドナー選択に関する研究

(申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)

- No.646 光トポグラフィー検査による精神疾患の病態研究

(申請者：神経精神医学講座 教授 丹羽真一)

- No.647 閉経後骨粗鬆症における遺伝子多型等の関連要因の検討

(申請者：公衆衛生学講座 教授 安村誠司)

- No.648 包括的呼吸リハビリテーションプログラムに参加している高齢者の栄養状態と QOL との関連

(申請者：ケアシステム開発部門

教授 結城美智子)

- No.649 新しい血小板抗体検出系の開発に関する研究

(申請者：輸血・移植免疫部 教授 大戸 斉)

- No.650 がん診療連携拠点病院における遺族による緩和ケアの質の評価に対する研究

(申請者：麻酔科学講座 教授 村川雅洋)

■ 学生の部活動報告

山岳部

部長 古川 佑哉

(医学部第3学年)

私たちは1年7名、2年2名、3年3名、4年3名、5年1名、6年5名の計21名で活動しています(2008年1月現在)。普段の練習というと、夏はアップダウンの激しいコースで週に2回ランニングをして、登山に必要な心肺機能や持久力を高めています。そして、夏も冬も1年を通して福島県内の山を中心に、隣接する県の山にも登っています。特に吾妻の山に出かけることが多く、その吾妻山荘の管理人さんはトレーナーとしても人生の大先輩としても、多くを教えてください、太く長いお付き合いをさせていただいております。



一年を通して、部員は訓練のためには適当であるこの山荘へのコースを好んで、食料や灯油などを上げたりしています。他に、近場でいうと安達太良山にも毎年必ず登りに行きます。実力のあるものは、より高度な技術を要する山を選び、挑戦しています。夏合宿は朝日岳、飯豊に向かい、1年生は歩き方の技術を向上させ長く歩いても疲れなような歩き方を会得したような気がします。冬合宿は吾妻山荘でテントを建てて、極寒中でいかに暖かく過ごすかという生活技術を学びました。後は、部員がそれぞれ計画を立てて行く、個人山行がこの部活の活動として挙げられます。

確かに山登りはつらいものです。天気もいつも味方してくれるわけではなく、雨風が強いときもあるし、吹雪くこともしばしばです。しかし、みんなで山頂に到達し、眼下に広がる美しい景色を一望した瞬間、その疲れは一気に吹き飛びます。下山後はいつも温泉に入り、その土地のおいしいものを食べて帰ることにしています。繰り返しますが、登山は本当につらく大変なものです。他のスポーツと違い、格好のいいものでもありません。しかし、その分体力はさることながら、精神力がかなり鍛えられます。医学の道を進む中で、この自然と身についた強い精神は僕たちの大きな助けになっていると思います。

この部活には大会などがなく、自分たちのペースとスケジュールにあわせて登山しています。部員のみならず日ごろたまっていたストレスを発散できるいい機会になっています。最後になりましたが、私たちの活動を温かく見守ってくださり、困難な場面ではいつもご鞭撻してくださる顧問の八木沼先生をはじめ、私たちの活動にご協力して下さっている多くの方に厚く御礼申し上げます。今後とも宜しくお願いいたします。

■ 医学部定員増の実施について

1 医学部定員増

国の新医師確保総合対策による10人の医学部入学定員増の実施に加え、緊急医師確保対策に基づく5人の暫定的な医学部入学定員増が容認されることとなり、昨年11月26日付けで学則の改正届出を文部科学大臣宛に提出し、所定の手続きを終了した。

これにより、平成20年度入学生から平成29年度まで、医学部の入学定員は現在の80人から95人となる。

年 度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度 ↓ 平成29年度
入学定員	95人	95人	95人	95人	95人	95人
収容定員	495人	510人	525人	540人	555人	570人

年 度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
入学定員	80人	80人	80人	80人	80人
収容定員	555人	540人	525人	510人	495人

2 福島県による奨学金制度の新設（「福島県緊急医師確保修学資金」）

医学部定員増の実施に伴い、卒業生の地域定着を図ることを目的として、福島県において、定員増による入学生を対象として奨学金制度が設けられる。奨学金は高額の新奨学金（第一種貸与）と少額の新奨学金（第二種貸与）の2種類で、卒業後、県内の公的医療機関での一定年限の勤務が義務づけられる。

	月 額	貸与対象者	義務年限
第一種貸与	23.5万円	10人以内	9年間
第二種貸与	10万円	35人以内	6年間

※福島県立医科大学における後期研修のみ、義務年限に含める。初年度に限り入学金相当額を貸付額に加算。

3 推薦入試の定員増

医学部定員増の実施に伴い推薦入試（地域枠）の定員を拡大し、県内枠に加えて県外枠を設ける。

推薦入試募集定員：25人以内（県内20人程度、県外5人程度）

県内枠：県内の1高校からの推薦人員 5人以内（現在は3人以内）

県外枠：県外の1高校からの推薦人員 1人まで（現役生のみ）

（県外枠については福島県緊急医師確保修学資金（第一種貸与）の借受者としてふさわしい者とする。）

■ 「大学院医学研究科医科学専攻（修士課程）」の設置について

1 設置する専攻

名 称	福島県立医科大学大学院医学研究科医科学専攻 (平成19年12月3日認可)
開設時期	平成20年4月
課 程	修士課程（修業年限2年）
学 位	修士（医科学）
定 員	入学10人、収容20人

2 目 的

医療の高度化、学際化の傾向を踏まえ、医学以外の専門分野を学んだ多様な知識的背景や発想を持つ人びとに、集中的に医科学を教授することを目的とする。それらの学際的な知識を統合させ、医学・医療に関連した多彩な分野で活躍できる研究者・教育者と高度な専門職として活躍する人材を育成する。

3 施 設

医療研修センター3階に講義室、共同研究室を設ける。

編集発行 公立大学法人福島県立医科大学
事務局企画グループ
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地
TEL 024(547)1013 FAX 024(547)1991

平成19年度 科学研究費補助金採択状況

(平成20年2月1日現在)

所 属	職 名	氏 名	研 究 種 目	課 題 番 号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)		
						19年度	20年度	21年度
医 学 部	教授	八木沼洋行	基礎研究(C)一般	18500266	運動神経サブグループに特異的に起こる細胞死の機序の解明	1,300	0	0
	助教	増田 知之	基礎研究(C)一般	19590191	脊髄一次求心性線維の標的認識機構に関与する新規軸索誘引因子の探索	2,000	1,400	0
	教授	和栗 聡	特定領域研究	18050032	クラスリン被覆を介するリソソーム酵素の効率的選別輸送	3,000	0	0
	教授	和栗 聡	基礎研究(C)一般	19590193	哺乳類トランスゴスグリンおよびエンドソームにおける分子選別の時空間解析	2,100	1,400	0
	講師	山本 雅哉	基礎研究(C)一般	19510227	繊維芽細胞成長因子(FGF)21の機能発現に関わる分子の同定	1,800	1,700	0
	教授	挾間 章博	基礎研究(C)一般	18590206	動脈硬化モデル動物を用いた血管内皮細胞防御機能に関与するイオンチャネルの研究	1,100	0	0
	教授	香山 雪彦	基礎研究(C)一般	18603007	レム睡眠中の血圧変動を引き起こす神経機構の解明	1,300	0	0
	講師	高橋 和巳	基礎研究(C)一般	18603006	視床下部睡眠覚醒調節ニューロンの同定と活動記録及び制御機構の解明	1,400	0	0
	准教授	遠藤 雄一	基礎研究(C)一般	18590476	パターン認識分子フィコリンの自然免疫における役割	1,100	1,000	0
	助教	岩城 大輔	若手研究(B)	19770113	病原感染による補体レクチン経路活性化におけるセリンプロテアーゼMASPの機能解析	1,200	1,100	1,000
	主任医 藤枝師	小野 委成	奨励研究	19924022	スタチン誘発骨格筋障害と細胞外ATP濃度の相関性	740	0	0
	主任医 藤枝師	森 修一	奨励研究	19905010	ハンセン病回復者への偏見・差別の是正と社会復帰に関する研究	760	0	0
	教授	阿部 正文	基礎研究(C)一般	17590310	B細胞におけるCD10/NEP24.11の生物学的役割の解明	1,000	0	0
	助教	鈴木 理	若手研究(B)	17790241	ヒト悪性リンパ腫におけるN型およびO型糖鎖とガラクチンの生物学的機能の解明	1,000	0	0
	教授	鈴木 利光	基礎研究(C)一般	18590337	ヒト癌における肝エックス受容体の発現と糖・脂質代謝の制御	1,100	0	0
	教授	福島 哲仁	基礎研究(C)一般	18590563	パーキンソン病発症に関する栄養的要因の日本中国共同研究	1,100	1,400	0
	講師	神田 秀幸	若手研究(B)	18790399	壮年男性を対象とした早期心不全予防のための介入研究	1,700	0	0
	講師	後藤 あや	若手研究(B)	18790400	アジア二国における計画外妊娠のケースを対象とした育児支援プログラムの実践と評価	1,500	0	0
	博士 研究員	阪本 貴之	若手研究(B)	19790536	単球接着による血管内皮細胞でのシグナル伝達・遺伝子発現調節機構に関する研究	1,600	1,400	0
	助教	片倉 響子	若手研究(B)	18790468	Toll-like receptorを介した自然免疫による炎症性腸疾患の制御	1,100	0	0
	講師	佐藤 博亮	基礎研究(C)一般	18590896	アディポネクチンの糖尿病性腎症に対する影響とその作用機序についての研究	700	0	0
	教授	宇川 義一	基礎研究(C)一般	18500236	シターバーハースト連続磁気刺激の作用機序に関する基礎的研究	1,000	0	0
	講師	石田 卓	基礎研究(C)一般	19590905	リアルタイムヴァータチャ画像補助下気管支鏡検査における硬さセンサーの有効性の研究	2,500	900	0
	講師	鈴木 弘行	基礎研究(C)一般	19591635	細胞周期を標的とした癌の免疫学的制御の試み	2,600	1,000	0
	助教	伊勢 一哉	基礎研究(C)一般	19591211	若年発症I型糖尿病に対する胰岛移植と膵島再生の機能連鎖	1,600	1,400	0
	助教	木村 隆	若手研究(B)	18790969	胆管癌における癌部、周囲異型細胞の分子生物学的解析	900	0	0
博士 研究員	土屋 貴男	基礎研究(C)一般	18591520	肝線癌化機序の解明とその制御～骨髄由来細胞の関与～	1,700	0	0	
教授	竹之下 誠一	基礎研究(B)一般	17390354	TGF-βシグナルを制御するユビキチンリガーゼの異常と癌のメカニズムに関する研究	1,400	0	0	
教授	竹之下 誠一	萌芽研究	18659391	プロテオグリカンを用いた腫瘍マーカーおよび、血行転移阻害剤開発のための基礎研究	1,600	0	0	
講師	小山 善久	基礎研究(C)一般	19591552	DNAトポイソメラーゼIの転写制御の機序とイリノテカン感受性の検討	1,500	1,300	700	
助教	安田 満彦	萌芽研究	19659326	乳癌におけるリンパ管増生と乳房リンパ管の3次元病理解析	2,200	900	0	
助教	岩部 学	若手研究(B)	19790924	サーカディアンリズムを利用した新たな痛放線療法法の確立	1,300	1,300	600	
教授	上田 和毅	基礎研究(C)一般	18591968	脱神経萎縮防止に関する実験的研究・流入型末端側神経縫合の検討	500	900	0	
助教	西山 浩	若手研究(B)	19791157	高腹転移卵巣癌細胞株におけるNeuregulin 関与の検討	1,800	1,500	0	
助教	高橋 秀憲	若手研究(B)	18790764	母体細胞性免疫破綻とiNOSによる早産発症機構への子宮内プログラミング関与の検討	1,400	0	0	
教授	細矢 光亮	基礎研究(C)一般	18591161	インフルエンザ感染症の病態モデルの作成と、その増悪及び改善因子の検討	1,000	1,000	0	
講師	川崎 幸彦	基礎研究(C)一般	17591103	腎糸球体の再生過程における糸球体内皮細胞の役割に関する検討	900	0	0	
助教	橋本 浩一	基礎研究(C)一般	18591196	SOCS遺伝子抑制によるRSV感染の新たな治療法確立の検討	1,000	600	0	
教授	飯田 知弘	基礎研究(C)一般	19592029	眼内血管新生病変におけるチミジンホスホララーゼの発現とその阻害剤による治療	2,000	1,500	0	

所 属	職	氏 名	研 究 種 目	課 題 番 号	研 究 課 題 名	金 額 (千円)		
						19年度	20年度	21年度
医 学 部	講 師	相川 健	基礎研究(C)一般	18591762	閉塞肺臓の機能低下とアンジオテンシンIIレセプターの間与及びプロッカーの予防効果	1,200	0	0
	助 教	野宮 正庵	若手研究(B)	18791127	ラット膀胱虚血モデルでのベータ アドレノセプターを介した膀胱弛緩における検討	900	0	0
	助 教	藤田 信博	若手研究(B)	18791126	腎臓の浸潤、増殖におけるHMGb1およびRAGEの関与についての検討	1,400	0	0
	専 攻 員	嘉村 康邦	基礎研究(C)一般	17591688	女性骨盤底機能障害の解剖学的および機能的な研究	500	0	0
	教 授	大森 孝一	基礎研究(B)一般	19390437	頭頸部臓器における多層構造再生技術の開発	9,300	5,200	0
	教 授	大森 孝一	萌芽研究	19659438	脂肪組織由来幹細胞の自家移植による聴覚機能再生	2,000	1,300	0
	准教授	小川 洋	基礎研究(C)一般	19591982	臍帯を用いた先天難聴原因探索	1,900	1,500	0
	助 教	多田 靖宏	若手研究(B)	18791222	気管再生における移植細胞のたす役割の解明	1,100	0	0
	助 教	横山 秀二	若手研究(B)	19791220	気道領域におけるヒト組織の培養および再生に関する研究	1,500	800	800
	専 攻 員	鈴木 雪恵	若手研究(B)	19791221	脂肪組織由来幹細胞による気管再生治療法の開発	1,900	1,100	0
	専 攻 員	渡邊 睦	基礎研究(C)一般	19591983	ティッシュエンジニアリングによる気管再生誘導技術の開発	2,100	1,100	0
	教 授	丹羽 真一	萌芽研究	19659293	統合失調症脳における神経興奮のドパミン・グルタミン酸による拮抗調節機構の異常	600	1,200	0
	研究員	高梨 靖子	若手研究(B)	18790843	成人の注意欠陥多動性障害とアスペルガー障害の行動特性チェックリストの作成	600	500	0
	助 教	小林 直人	若手研究(B)	19790824	認知症病名告知における心理的側面の検討	500	200	100
	教 授	村川 雅洋	基礎研究(C)一般	18591712	全身麻酔薬の向精神作用に関する神経化学的研究	1,700	0	0
	准教授	今福 裕司	基礎研究(C)一般	19590567	プロテオミクスを用いた抗体反応による自己抗体の検出と同定	2,100	1,300	0
	講 師	中川(末永)恵子	基礎研究(C)一般	19520577	日中戦争期における同仁会の活動実態	700	500	500
	講 師	谷口 暢一	若手研究(B)	19750081	銅触媒によるジカルコゲニド結合の開裂を伴う立体選択的有機カルコゲニド化合物の合成	1,400	500	0
	准教授	吉田 宏	特定領域研究	19035008	「光度-赤方偏移関係」に対する多重重カレンズ効果の影響の理論的解明	1,400	0	0
	講 師	本間美和子	基礎研究(C)一般	18570133	プロテインキナーゼCK2によるクロマチン機構の調整	1,400	0	0
教 授	和田 郁夫	特定領域研究	19037020	細胞内膜管腔系における1分子ダイナミクスの研究	2,400	2,400	0	
教 授	和田 郁夫	基礎研究(B)一般	19370044	成熟過程における分泌系カーゴタンパク質のゲーティング・パームシヨシヨシ機構の研究	7,400	6,700	0	
准教授	初沢 清隆	特定領域研究	18050031	フアゴサイトーシスにおける小胞体・ゴルジ体からのメンブレントラフィックの解明	2,600	0	0	
准教授	初沢 清隆	基礎研究(C)一般	19570183	SNAREタンパク質によるフアゴサイトーシスと抗原提示反応の制御機構の解明	1,800	1,700	0	
教 授	小林 和人	特定領域研究	18019031	細胞タイプ特異的な神経活動抑制のための新技術開発	5,300	0	0	
教 授	小林 和人	基礎研究(B)一般	19300109	線条体放射線経路を介する行動制御の神経回路メカニズム	6,200	2,800	2,800	
助 教	甲斐 信行	基礎研究(C)一般	19500297	報酬行動に関わる神経回路メカニズムの解析	1,800	600	700	
助 教	中川 公一	基礎研究(C)一般	18500347	非侵襲的ESRスピンプローブ法による皮膚角層脂質の状態評価	600	0	0	
講 師	大川 敏昭	基礎研究(C)一般	18591806	胎児高サイトカイン血症における子宮内プログラミングによる高血圧発症の研究	1,900	0	0	
講 師	藤森 敬也	基礎研究(C)一般	19591284	睡眠サイクルと硫酸マグネシウムの胎児受容体反射への影響-羊胎子慢性実験モデル-	1,100	800	1,000	
准教授	寺島 雅典	基礎研究(C)一般	19591551	胃癌の発生と進展における癌幹細胞の意義	2,200	1,300	0	
附 属 病院長	菊地 臣一	基礎研究(C)一般	19591727	腰部神経根性疼痛に対するアシロロリスロエチノンの効果に関する研究	2,500	1,100	0	
教 授	横田 素美	萌芽研究	17659684	がん患者の在宅医療を支えるためのヘルスケアチーム構築を阻む要因	500	0	0	
准教授	小平 廣子	萌芽研究	17659713	短期入所サービス利用の痴呆高齢者の家族介護者に対する問題行動対応方法教育の効果	500	0	0	
助 教	石井(渡辺)壯子	若手研究(B)	19791709	小児がん経験者の社会的予後の改善をめざした保護者支援のためのパンフレット作成	500	800	0	
助 教	清水 昌美	若手研究(B)	18791680	老年期に骨髄損傷を負った体験者の抱く希望	400	0	0	
教 授	中山 洋子	基礎研究(A)一般	18209062	看護実践能力の発達過程と評価方法に関する研究	7,000	5,200	5,100	
講 師	田井 雅子	基礎研究(C)一般	19592575	統合失調症患者の症状マネジメントと支援体制確立に向けた再入院ケアプログラムの作成	1,100	800	1,000	
教 授	直壁 玲子	基礎研究(C)一般	19592503	老年期乳がん体験者のソーシャル・サポートと精神的・身体的状況	1,200	900	1,300	
講 師	古橋 知子	基礎研究(C)一般	19592504	プリパレーション導入・定着に向けたアクションリサーチ-多施設協同システムの検討-	2,200	600	700	